

【がん種】 [膀胱癌](#)
【レジメン名】 GEM+S-1②術前
【登録番号】 160607
【1コースの期間】 3週間
【投与間隔調整規定】 【コース間】-2日、【コース内】day8: ±1日
【総コース数】 術前: 2コースまで
【催吐性リスク】 軽度: ゲムシタピン, ティーエスワン
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性): ゲムシタピン
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、発熱、疲労、流涙、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚不全、下痢、便秘、湿疹

【必要な検査】 一般採血, 間質性肺炎の確認
【根拠論文】 Jpn J Clin Oncol 49:190-194, 2019.

【点滴の時間】 [day1, 8]2時間
【その他】 ティーエスワン投与量: BSA < 1.25m²: 80mg/日, 1.25m² ≤ BSA < 1.50m²: 100mg/日, BSA ≥ 1.50m²: 120mg/日.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日							
					1	...	8	...	15	...	21	
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○		○					
2	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V	側管	30分	○		○					
3	生理食塩液 100mL ゲムシタピン点滴静注用「ヤクルト」	1 B 1000 mg/m ²	側管	30分	○		○					
4	ティーエスワン配合OD錠 1日目の夕~15日目の朝まで	80 mg/m ² /日	内服	1日2回朝夕食後	△	○	○	○	△			

【GEM+S-1②術前減量・休薬・中止基準】

Jpn J Clin Oncol 49:190-194, 2019.

減量	ゲムシタピン	S-1		
開始量	1000mg/m ²	120mg/日	100mg/日	80mg/日
1段階	800mg/m ²	100mg/日	80mg/日	60mg/日
2段階	600mg/m ²	80mg/日	60mg/日	中止

有害事象	Grade	用量調整
血液毒性	3	Grade1以下になるまで休薬
	4	Grade1以下になるまで休薬し、ゲムシタピン、ティーエスワン共に一段階減量
非血液毒性	2	Grade1以下になるまで休薬
	3	Grade1以下になるまで休薬し、ゲムシタピン、ティーエスワン共に一段階減量